



津山工業高等専門学校校報

第124号 平成22年9月1日発行

(平成22年4月1日～平成22年7月31日)

校内諸規則

目 次

◎津山工業高等専門学校経営戦略会議規程（規程第11号）	2
◎津山工業高等専門学校運営会議規程の一部を改正する規程（規程第16号）	2
◎津山工業高等専門学校主事会議規程等を廃止する規程（規程第13号）	2
人事異動	2
主要日誌	5
諸 報	7
○教育研究支援センターの組織化について	7
○名誉教授称号授与	7
○人間ドックの実施	7
○平成22年度入学式	7
○就業規則等の改正	8
○平成22年度公開講座	9
○平成22年度科学研究費補助金の採択	9
○受託研究	11
○共同研究	12
○寄附金	12
○広報キャラクターの制定について	14
○津山地域企業—津山高専連携ネットワーク発足会—	14
○新入寮生避難訓練	14
○リサイクル研修会	14
○中四国専攻科生研究交流会	14
○平成22年度リーダー研修	14
○第57回美作地区高等学校総合体育大会	15
○春季校内スポーツ大会	15
○北辰寮後援会・寮生会・寮務委員会の懇談会	15
○授業公開週間	15
○第1回特別支援教育研修会	15
○米国ペンシルベニア・カレッジ・オブ・テクノロジー来校	15
○学生募集（専攻科推薦入試）	16
○津山高専技術交流プラザ総会開催	16
○工場見学	16
○学生募集（専攻科前期学力入試）	16
○平成22年度中国地区高等専門学校執行長会議	16
○救急処置実技講習会	17
○北辰寮防火避難訓練	17
○第46回中国地区高等専門学校体育大会（夏季大会）	17
○第2回特別支援教育研修会	18

校内諸規則

◎ 津山工業高等専門学校経営戦略会議規程

- 1 制定番号 規程第11号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校経営戦略会議規程
- 3 制定年月日 平成22年4月27日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 稲葉英男
- 5 制定理由 経営（学校運営，教育，研究）に関し，特に重要な事項緊急を要する重要事項を審議又は決定するため

◎ 津山工業高等専門学校運営会議規程の一部を改正する規程（規程第16号）

- 1 制定番号 規程第12号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校運営会議規程の一部を改正する規程
- 3 制定年月日 平成22年4月27日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 稲葉英男
- 5 制定理由 経営戦略会議設置による一部変更に伴う改正

◎ 津山工業高等専門学校主事会議規程等を廃止する規程

- 1 制定番号 規程第13号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校主事会議規程等を廃止する規程
- 3 制定年月日 平成22年4月27日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 稲葉英男
- 5 制定理由 経営戦略会議設置により，主事会議規程及び教育・研究プロジェクト戦略推進本部設置規程を廃止するため

人事異動

個人情報を含むため公開せず。

主要日誌

- 4月1日 学生生活委員会，寮務委員会，産学連携推進委員会
- 2日 開寮，後援会監査，教員会議，教務委員会，専攻科運営委員会
- 5日 国際交流委員会，教育システム点検委員会
- 7日 始業式，オリエンテーション
- 8日 後援会総会，入寮式，北辰寮後援会総会
- 9日 新入生歓迎会
- 14日 新入寮生避難訓練，健康診断，進学手続説明会
- 15日 学生会との懇談会，健康診断，寮務委員会
- 16日 健康診断
- 19日 寮生リサイクル研修会，健康診断
- 20日 健康診断，教務委員会，学生生活委員会，安全衛生委員会
- 21日 健康診断
- 22日 寮生総会，寮生会役員認証式，健康診断
- 23日～24日 中四国専攻科生研究交流会
- 24日 リーダー研修会
- 27日 運営会議

5月8日～9日 美作地区高校総体

- 10日 経営戦略会議
- 12日 春季校内スポーツ大会
- 13日 健康診断, 教育システム点検委員会
- 14日 環境委員会
- 15日 北辰寮後援会・寮生会・寮務委員会との懇談会, 寮祭 (暁祭)
- 17日 経営戦略会議
- 17日～21日 授業公開週間
- 18日 学生総会, 特別支援教育研修会, 安全衛生委員会
- 19日 プロコン校内審査会, 専攻科運営委員会, 寮務委員会
- 20日 学生生活委員会, 産学連携推進委員会
- 21日 授業参観日, 教務委員会
- 24日 専攻科推薦入試, 専攻科 (拡大) 運営委員会, 経営戦略会議
- 25日 寮生持込物品点検, 交通安全講習会, 運営会議
- 27日 寮生ネットワーク講習会
- 28日 ロボコン校内審査会
- 31日 経営戦略会議

6月1日 交通安全講習会

- 5日～6日 岡山県高校総体
- 7日 経営戦略会議
- 9日～15日 前期中間試験
- 14日 経営戦略会議
- 15日 専攻科運営委員会, 寮務委員会
- 16日 工場見学 (1年生, E-2, S-2, C-2, S-4)
- 17日 産学連携推進委員会
- 18日 専攻科前期学力入試
- 19日～20日 中国地区高専執行長会議 (呉高専)
- 21日 救急処置の実技講習会 (新入寮生), 専攻科 (拡大) 運営委員会, 経営戦略会議
- 22日 交通安全講習会, 教務委員会, 学生生活委員会, 安全衛生委員会
- 23日 工場見学 (E-4)
- 24日 学生会との懇談会, 北辰寮防火避難訓練, 教育システム点検委員会
- 28日 中国地区高専体育大会参加説明会, 経営戦略会議
- 29日 中国地区高専体育大会壮行会, 技術者倫理講演会, 運営会議
- 30日 工場見学 (M-2, M-4, C-4)

7月2日～4日 第46回中国地区高専体育大会 (呉, 大島, 米子)

- 5日 経営戦略会議
- 6日 交通安全講習会, 教員会議
- 6日～8日 寮生バスケットボール大会
- 12日 入学試験委員会
- 13日 寮一斉清掃, 交通安全講習会
- 15日 産学連携推進委員会
- 15日～22日 特別補習期間
- 16日 学生生活委員会, 進路支援委員会
- 20日 教務委員会, 寮務委員会, 安全衛生委員会

21日 専攻科運営委員会
21日～8月31日 夏季休業
26日 経営戦略会議
28日 特別支援教育研修会
30日 閉寮，閉寮点検，臨時寮務委員会

諸 報

○教育研究支援センターの組織化について

4月1日より，教育研究支援センターは教育及び研究に対する技術支援，地域社会との連携及び技術協力並びに技術職員の能力・資質の向上を図り優れた人材を確保することを目的とするため，事務組織より独立し，新たに組織化することとなった。

○名誉教授称号授与

次のとおり名誉教授の称号が授与された。

授与年月日 : 平成22年4月1日
被授与者 : 藤原 敏
伊藤 國雄

○人間ドックの実施

文部科学省共済組合では，平成22年度人間ドック助成事業として次のとおり人間ドックを実施する。

対 象 : 満年齢35歳以上（平成22年4月1日現在）の組合員及び組合員の被扶養者である配偶者

申込期間 : 平成22年4月22日（木）～平成22年11月30日（火）

受診期間 : 平成22年5月13日（木）～平成23年1月31日（月）

予約方法

1. KKR病院

文部科学省共済組合ホームページ健診受付WEBサイトにて予約・登録を行う。

2. KKR病院以外の健診機関

健診機関に直接電話等で予約後，文部科学省共済組合ホームページ健診受付WEBサイトにて登録を行う。

なお，ホームページを閲覧できる環境にない者については，郵送による登録を行う。

○平成22年度入学式

入学式が次のとおり挙行された。

本 科 ・ 専 攻 科

日 時 平成22年4月8日（水）10時～

場 所 第2体育館

入 学 者	機械工学科	40名
	電気電子工学科	45名
	電子制御工学科	46名

情報工学科	40名
（本科入学者合計	171名）
（編入学者合計	11名）
機械・制御システム工学専攻	16名
電気・情報システム工学専攻	14名
（専攻科入学者合計	30名）

○就業規則等の改正

独立行政法人国立高等専門学校機構教職員給与規則が平成22年7月26日に一部改正された。

改正の概要は下記のとおり。

- 教職員の労働時間、休暇等に関する規則（第9号）
 - ・ 所定時間外労働の免除（第7条）
 - 3歳に満たない子を養育する教職員が請求した場合、所定時間外労働を免除すること。
 - ・ 短時間労働（第13条）
 - 短時間労働の対象者、期間、手続きについて、育児休業規則、介護休業規則に定めるものとする。
 - ・ 子の看護休暇（第24条）
 - 子の看護休暇の対象を、子に予防接種・健康診断を受けさせる場合も取得できるようにすること。
 - ・ 介護休暇（第24条）
 - 要介護状態にある対象家族の介護等を行うための特別休暇の新設。
 - ・ 上記の改正に関連する、条項・字句の整理
- 非常勤教職員の労働時間、休暇等に関する規則（第14号）
 - ・ 所定時間外労働の免除（第8条）
 - 3歳に満たない子を養育する教職員が請求した場合、所定時間外労働を免除すること。
 - ・ 子の看護休暇（第15条）
 - 子の看護休暇の対象を、子に予防接種・健康診断を受けさせる場合も取得できるようにすること。
 - ・ 介護休暇（第15条）
 - 要介護状態にある対象家族の介護等を行うための特別休暇の新設。
 - ・ 上記の改正に関連する、条項・字句の整理
 - ・ 介護休暇（第14条）
 - 要介護状態にある対象家族の介護等を行うための特別休暇の新設。
- 教職員の育児休業等に関する規則（第19号）
 - ・ 育児短時間労働制度をこの規則に定めることとし、同制度を非常勤教職員等にも適用することとした等の理由から、体系的に規定する。また、労使協定による専業主婦（夫）規定の廃止、非常勤教職員等が育児休業をする場合の父母ともに育児休業をする場合の育児休業取得可能期間の延長、育児部分休業の整備を行う。
- 教職員の介護休業等に関する規則（第20号）
 - ・ 介護短時間労働制度をこの規則に定めることとし、同制度を非常勤教職員等にも適用することとした等の理由から、体系的に規定する。また、介護部分休業の整備を行う。
- 教職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する細則（第80号）
 - ・ 休職期間等換算表（別表第10）

→ 育児休業規則及び介護休業規則の改正に伴う字句の整理。

○ 教職員の労働時間、休暇等に関する細則（第81号）

・ 時間外、深夜及び休日の労働（第3条の2、別紙様式2））

→ 3歳に満たない子を養育する教職員が請求した場合、所定時間外労働を免除する制度の新設に伴う手続きの規定及び字句の整理。

・ 短時間労働（削除）

→ 育児休業等に関する規則及び介護休業等に関する規則に短時間労働を定めたことに伴う条文的削除。

○平成22年度公開講座

平成22年度公開講座は7講座を予定している。

講座名	期間	対象	募集定員	受講料
天体観測会－君も未来のガリレオだ！2010－	①5月17日 ②7月23日 ③10月12日 ④12月21日	小4～中3	20名	無料（材料費のみ実費）
デジタル一眼カメラの魅力（岡山県生涯学習大学「専門教養コース」）	7月10日～17日（土日3回）	一般	40名	1000円
空高く飛ばそう！競技用ペーパーグライダー講座	7月24日	小・中学生	40名	無料（材料費のみ実費）
サッカーロボットを作ろう	7月27日～29日	小・中学生	18名	無料
レスキューロボット・ミニ	7月27日～29日	小3～中3	20名	無料（材料費のみ実費）
作ろう・飛ばそうモデルロケット	7月28日～30日	小3～中3	15名	無料（材料費のみ実費）
音は働きもの－音をもっと知ろう－	8月19日	小5～中3	20名	無料

○平成22年度科学研究費補助金の採択

職 名 専門学科共通科目・教授

氏 名 佐々井 祐二

研究種目 基盤研究C

金額 直接経費400,000円 間接経費120,000円（継続・3年次）

研究課題名 インターネット天文台と計算機シミュレーションによる科学教育の新展開

職 名 機械工学科・教授

氏 名 小西 大二郎

研究種目 基盤研究C

金額 直接経費500,000円 間接経費150,000円（継続・2年次）

研究課題名 環境負荷低減を指向した微小潤滑歯車の潤滑・冷却効果の検証

職 名 電気電子工学科・教授
 氏 名 伊藤 國雄
 研究種目 基盤研究C
 金額 直接経費700,000円 間接経費210,000円 (継続・2年次)
 研究課題名 窒化炭素薄膜を用いた低コスト白色発光素子に関する研究

職 名 情報工学科・教授
 氏 名 藪木 登
 研究種目 基盤研究C
 金額 直接経費1,700,000円 間接経費510,000円 (新規)
 研究課題名 視線を用いた家電製品のコントロールシステムの構築

職 名 情報工学科・教授
 氏 名 岡田 正
 研究種目 基盤研究C
 金額 直接経費900,000円 間接経費270,000円 (新規)
 研究課題名 情報基礎教育の実践成果を活かした評価基準の共有化に関する研究

職 名 一般科目・教授
 氏 名 稲田 知己
 研究種目 基盤研究C
 金額 直接経費1,100,000円 間接経費330,000円 (新規)
 研究課題名 「住む」ことを学ぶーハイデッカー居住論とモダニズム建築ー

職 名 一般科目・教授
 氏 名 大田 肇
 研究種目 基盤研究C
 金額 直接経費1,200,000円 間接経費360,000円 (新規)
 研究課題名 武力紛争に際しての「生命に対する権利」の裁判規範性ーイギリス司法を素材としてー

職 名 電子制御工学科・教授
 氏 名 山本 吉範
 研究種目 挑戦的萌芽研究
 金額 直接経費500,000円 間接経費0円 (継続・2年次)
 研究課題名 真核生物の鞭毛運動による推進力発生メカニズムの力学的考察

職 名 一般科目・教授
 氏 名 佐藤 誠
 研究種目 挑戦的萌芽研究
 金額 直接経費600,000円 間接経費0円 (新規)
 研究課題名 薄液膜中の音速測定による膜破壊機構の解明

職 名 電子制御工学科・講師
 氏 名 桶 真一郎
 研究種目 若手研究B
 金額 直接経費700,000円 間接経費210,000円 (継続・3年次)
 研究課題名 キャパシタを用いた電気自動車用高速エコパワーサプライシステムの開発

職 名 電子制御工学科・講師
氏 名 細谷 和範
研究種目 研究活動スタート支援
金 額 直接経費 980,000円 間接経費 294,000円 (継続・2年次)
研究課題名 ウミガメの遊泳に学んだ推進機構に関する実験的研究

職 名 電子制御工学科・教授
氏 名 鳥家 秀昭
研究種目 基盤研究C (電気通信大学・研究分担者)
金 額 直接経費 100,000円 間接経費 30,000円
研究課題名 低周波電磁波動と雷活動総合観測を用いた冬季雷及び夏季雷の電気的特性に関する研究

職 名 機械工学科・教授
氏 名 井上 浩行
研究種目 基盤研究C (津山高専・研究分担者)
金 額 直接経費 100,000円 間接経費 30,000円
研究課題名 視線を用いた家電製品のコントロールシステムの構築

職 名 電子制御工学科・講師
氏 名 桶 真一郎
研究種目 基盤研究C (岐阜高専・研究分担者)
金 額 直接経費 100,000円 間接経費 30,000円
研究課題名 簡易全天日射計測のための波長選択式日射計の開発と各地フィールドテスト

職 名 一般科目・講師
氏 名 角谷 英則
研究種目 基盤研究C (香川高専・研究分担者)
金 額 直接経費 50,000円 間接経費 15,000円
研究課題名 女性技術者のキャリア形成過程に関する実証的研究－高専の教育モデルの構築をめざして－

職 名 一般科目・講師
氏 名 角谷 英則
研究種目 基盤研究C (中京大学・研究分担者)
金 額 直接経費 690,000円 間接経費 207,000円
研究課題名 情報弱者のかかえる諸問題の発見とメディアのユニバーサル・デザインのための基礎研究

○受託研究

研究題目 長寿健康社会を支えるロボット要素技術
(学習機能を備えた関節可動域訓練用リハビリ装具の開発)
研究委託者 岡山県
研究担当者 電子制御工学科 谷口 浩成
経 費 直接経費 3,286,863円 間接経費 311,551円
研究期間 平成22年6月1日～平成23年2月28日

研究題目 小径ボールエンドミルによる光学ガラスの曲面切削加工に関する研究
研究委託者 岡山県
研究担当者 機械工学科 大野 威徳
経 費 直接経費 1, 823, 040円 間接経費 172, 800円
研究期間 平成22年6月1日～平成23年2月28日

○共同研究

研究題目 環境放射線の変動とその要因に関する研究
共同研究員 独立行政法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター 石森 有
本校担当者 機械工学科 加藤 学
経 費 直接経費 0円
研究期間 平成22年5月6日～平成23年3月31日

研究題目 高専一技大連携未来パワーネットワークの組織化
共同研究者 国立大学法人豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 瀧川浩史
本校担当者 電子制御工学科 桶 真一郎
経 費 直接経費 200, 000円
研究期間 平成22年7月1日～平成23年3月15日

研究題目 地域活性化に向けた環境・エネルギー技術講演会の開催と研究連携
共同研究者 国立大学法人長岡技術科学大学 副学長 斎藤秀俊
本校担当者 電気電子工学科 田辺 茂
経 費 直接経費 300, 000円
研究期間 平成22年7月23日～平成23年3月31日

研究題目 集光式太陽光発電システムの発電特性のフィールド試験に基づく評価
共同研究者 国立大学法人長岡技術科学大学 機械系 准教授 山田 昇
本校担当者 電子制御工学科 桶 真一郎
経 費 直接経費 300, 000円
研究期間 平成22年7月23日～平成23年3月31日

○寄附金

寄 附 者 マイサイエンス株式会社
寄附の目的 原田寛治の教育・研究助成
寄附年月日 平成22年4月30日
寄 附 金 額 130, 000円

寄 附 者 (財) 御器谷科学技術財団
寄附の目的 山口大造の教育・研究助成
寄附年月日 平成22年5月6日
寄 附 金 額 1, 000, 000円

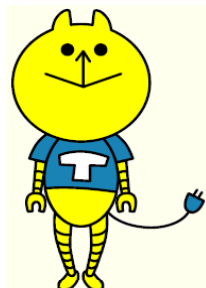
寄 附 者 旭硝子株式会社
寄附の目的 植月唯夫の教育・研究助成
寄附年月日 平成22年5月20日
寄 附 金 額 1, 000, 000円

寄附者	津山工業高等専門学校後援会
寄附の目的	教育活動の助成
寄附年月日	平成22年5月24日
寄附金額	3,250,000円
寄附者	日本タングステン株式会社
寄附の目的	植月唯夫の教育・研究助成
寄附年月日	平成22年5月31日
寄附金額	500,000円
寄附者	福島工業株式会社
寄附の目的	寺元貴幸の教育・研究助成
寄附年月日	平成22年5月31日
寄附金額	100,000円
寄附者	津山圏域工業会
寄附の目的	津山工業高等専門学校における研究の奨励
寄附年月日	平成22年6月8日
寄附金額	100,000円
寄附者	(財)八雲環境科学振興財団
寄附の目的	西尾公裕の教育・研究助成
寄附年月日	平成22年6月11日
寄附金額	500,000円
寄附者	下西二郎(ペンカレ交流座長)
寄附の目的	国際交流支援のため
寄附年月日	平成22年6月14日
寄附金額	4,600円
寄附者	ハリキ精工株式会社岡山工場
寄附の目的	教育研究助成
寄附年月日	平成22年6月24日
寄附金額	30,000円
寄附者	東芝照明プレジジョン株式会社
寄附の目的	植月唯夫の教育・研究助成
寄附年月日	平成22年6月30日
寄附金額	250,000円
寄附者	(財)マツダ財団
寄附の目的	細谷和範の教育・研究助成
寄附年月日	平成22年6月30日
寄附金額	100,000円
寄附者	(財)マツダ財団
寄附の目的	八木秀幸の教育・研究助成
寄附年月日	平成22年6月30日
寄附金額	100,000円

寄附者 (財)岡山工学振興会
寄附の目的 藤田一寿の教育・研究助成
寄附年月日 平成22年7月29日
寄附金額 126,000円

○広報キャラクターの制定について

学外に対して本校のイメージを広く社会にアピールし親んでもらうと同時に、学内においても津山高専への帰属意識を高め、諸活動を活性化する方法として新たに広報キャラクター「てくにゃん」を制定した。



(てくにゃん)

○津山地域企業－津山高専連携ネットワーク発足会

4月6日(火)合併教室において、「地域社会との連携・共創をめざして」と題して、津山地域企業－津山高専連携ネットワーク発足会を開催した。

中国地域産学官連携コンソーシアムのシーパスネットに加入の津山圏の企業が集まり、本校の平成21年度のJSTシーズ発掘試験(発掘型)の採択教員6名の研究発表および地域共同テクノセンターの施設見学、技術相談を行った。

○新入寮生避難訓練

4月14日(水)北辰寮では、入寮後早期に、緊急時の迅速な避難をさせるため、新入寮生の避難訓練を実施した。

1年生の新入寮生は、第4寮2階・3階の窓から緩降器(オリロー)を使用して1人ずつ順番に1階までの降下直前までの訓練を行った。

○リサイクル研修会

4月19日(月)合併教室において、正しいゴミの分別、リサイクル資源についての研修会を実施した。

新入寮生を対象に、講師の津山市環境生活部環境事業課ごみゼロ推進課係から、「リサイクルからゴミの減量へ」と題しての講演及びビデオ紹介があり、資源環境型社会とするためにはどのように取り組んでいくべきか活発な質疑応答がなされた。

○中四国専攻科生研究交流会

4月23日(金)・24日(土)の2日間にわたり、高松テルサ(主管校:香川高専)にて平成22年度中国四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会が開催され、本校専攻科生が参加した。同会では、日頃の研究成果の発表や意見交換を行い、学校の枠を越えて専攻科生同士の交流を深めた。

○平成22年度リーダー研修

4月24日(土)、合併教室と合宿研修施設を利用し、リーダー研修会が開催された。これ

は、学生会・運動局・文化局の役員や部長などが集まって毎年開催されているもので、最初に荒木学生主事補から、課外活動の意義やリーダーとしての心構えなどについて講演が行われ、その後、学生会・運動局・文化局に分かれての分科会を実施し、今年度の活動内容や予算などを活発に議論した。

○第57回美作地区高等学校総合体育大会

第57回美作地区高等学校総合体育大会が5月8日（土）・9日（日）に開催され、美作地区14高校・高専から総勢で約1600人もの選手が参加し熱戦を展開した。

本校も各運動部に所属する3年生以下の学生が、男女12種目（陸上競技部、水泳部、バレーボール部、ラグビー部、サッカー部、ハンドボール部、ソフトテニス部、剣道部、バスケットボール部、硬式野球部、柔道部、卓球部）に参加し活躍した。

主な成績は（3位以上）は次のとおり

男子の部	卓球	第1位
	ソフトテニス	第3位
	柔道	第3位
	ハンドボール	第3位

○春季校内スポーツ大会

5月12日（水）に平成22年度の春季校内スポーツ大会を開催した。今回実施された競技種目は、サッカー・バドミントン・バレーボールの3種目で、このうちバレーボールには教職員チームも参加し、学生との親睦を図った。

○北辰寮後援会・寮生会・寮務委員会の懇談会

5月15日（土）、北辰寮後援会役員・寮生会役員・寮務委員が、寮の在り方について率直に話し合い、相互の理解を深めるとともに、有意義で豊かな寮生活を送るための施策につなげようとの趣旨で懇談会を実施した。

寮生会からの活動報告に続き、後援会及び寮生会からそれぞれの要望や意見交換があり、活発で和気あいあいの懇談が行われた。

○授業公開週間

5月17日（月）～21日（金）の5日間にわたり授業公開を実施した。

最終日の21日（金）には、保護者や中学校関係者、近隣住民の方にも参加してもらっての授業参観を実施した。

参加者からは、授業の進め方やクラスの雰囲気、学校の様子などについて意見が寄せられた。

○第1回特別支援教育研修会

5月18日（火）、合併教室で、講師に愛知県立日進西高校養護教諭の杉村直美先生を招き、近年増加しているADHD、アスペルガーやLDなど、様々な発達障害学生への正しい理解と対処方法について研修会を行った。

○米国ペンシルベニア・カレッジ・オブ・テクノロジー来校

5月18日（火）～23日（日）の間、米国ペンシルベニア・カレッジ・オブ・テクノロジーより6名が来校し、授業や部活動見学、市内の名所巡り、和紙の紙すき体験、温泉体験、広島市の平和公園の見学等のスケジュールで日本の文化体験や本校学生との交流を実施した。

○学生募集（専攻科推薦入試）

5月24日（月）本校において、平成23年度専攻科推薦入学者選抜試験を実施し、28日（金）に合格者を発表した。

志願・合格状況は次のとおりである。

志願者数9名

（機械・制御システム工学専攻6名、電子・情報システム工学専攻3名）

合格者数9名

（機械・制御システム工学専攻6名、電子・情報システム工学専攻3名）

○津山高専技術交流プラザ総会開催

5月31日（月）津山圏域雇用労働センターにおいて、平成22年度津山高専技術交流プラザ総会が開催され、平成21年度事業報告および決算報告、今年度のさらなる産学交流の進展をめざす事業計画等が承認された。

○工場見学

1年生、2年生および4年生を対象に、勉強に対する意識や仕事に対する理解を養うことを目的として、工場見学を実施した。

各クラスの日程・見学先は次のとおりである。

<1年生>

全クラス 6月16日（水）津山洋学資料館，リージョンセンターペンタホール

<2年生>

機械工学科 6月30日（水）JFEスチール（株）西日本製鉄所

電気電子工学科 6月16日（水）ダイヘン産業機器（株），三洋電機コンシューマエレクトロニクス（株）

電子制御工学科 6月16日（水）中国電力（株），島根原子力発電所，島根原子力館

情報工学科 6月16日（水）（財）高輝度光科学研究センター（Spring-8），大阪ガス（株）（姫路ガスエネルギー館）

<4年生>

機械工学科 6月30日（水）三菱電機（株）姫路製作所

電気電子工学科 6月23日（水）俣野川揚水発電所，日野変電所，島根原子力発電所

電子制御工学科 6月16日（水）三菱重工業（株），高砂製作所

情報工学科 6月30日（水）サントリーホールディングス（株），山崎蒸留所

○学生募集（専攻科前期学力入試）

6月18日（金）本校において、平成23年度専攻科前期学力入学者選抜試験を実施し、23日（水）に合格者を発表した。

志願・合格状況は次のとおりである。

志願者数21名

（機械・制御システム工学専攻4名、電子・情報システム工学専攻17名）

合格者数16名

（機械・制御システム工学専攻2名、電子・情報システム工学専攻14名）

○平成22年度中国地区高等専門学校執行長会議

6月19日（土）・20日（日）の2日間にわたり呉高専を当番校に呉市で開催された平成22年度中国地区高等専門学校執行長会議に本校から学生会長他3名が参加し、学生会・高専

祭の活動などについて活発な議論を行った。

○救急処置実技講習会

6月21日（月）第2体育館において、怪我、急病における救急処置の実技講習会及びAED（自動体外式除細動器）の操作方法を1年生寮生を対象に実施した。

講師には、津山圏域消防組合の救急救命士を迎え、不測の事態の対処方法を身につけるためにダミー人形相手の人工呼吸や心臓マッサージ・AEDの使用方法等の実技等、全員熱心に体験した。

○北辰寮防火避難訓練

6月24日（木）夜に全寮生を対象に避難訓練を実施した。実際に発煙筒を焚き、火災報知器のベルを鳴らした。寮生会が主体となって避難場所への誘導、避難者の確認、消防車の誘導の模擬を行い、防災意識を高めた。

○第46回中国地区高等専門学校体育大会（夏季大会）

7月2日（金）から4日（日）の3日間にわたり、呉高専を主幹校、大島商船高専及び米子高専を協力校として、第46回中国地区高等専門学校体育大会が開催され、本校学生は各種目に参加し健闘・活躍し、団体戦でハンドボール部が準優勝し全国大会出場を果たした。

なお、各種目の個人種目で上位入賞者は、8月11日から25日まで東海・北陸地区で開催される第45回全国高等専門学校体育大会に出場することとなった。

大会結果は次のとおり（3位以上を記載、○印は全国大会出場）

団体の部

- ◇ 第2位 ○ハンドボール
- ◇ 第2位 柔道
- ◇ 第3位 バドミントン

個人の部

◇陸上競技

- 第2位 ○清水日彬（110mH）
- 第2位 ○4×100mR
- 第2位 ○4×400mR
- 第2位 ○清水日彬（走幅跳）
- 第2位 ○大塚崇登（3段跳）
- 第3位 ○大塚崇登（走幅跳）

◇柔道

- 第1位 ○寺坂俊哉（60Kg級）
- 第3位 土居隆宏（60Kg級）

◇テニス

- 第2位 ○倉持風夏（女子単）
- 第2位 ○倉持風夏・石本梨恵（女子複）

◇ソフトテニス

- 第3位 ○牧野聡・保田哲志

◇水泳（男子）

- 第1位 ○廣野淳也（400m自由形）
- 第2位 ○酒井智弘（400m自由形）
- 第3位 ○廣野淳也（800m自由形）

- 第3位 ○宇田康生（800m自由形）
◇水泳（女子）
第2位 ○寺元玲奈（50mバタフライ）
◇バドミントン
第3位 石井貴之・竹内惇（男子複）
第3位 石井貴之（男子単）

○第2回特別支援教育研修会

7月28日（水）合併教室で、教職員を対象とした特別支援教育研修会を開催した。この研修会は今回が第2回目で、佐世保高専の特別支援教育コーディネーターの松尾秀樹先生を講師として招き、「佐世保高専における特別支援教育の取り組み」をテーマに講演を行った。特別支援を必要とする学生についての正しい理解と、支援機能の拡充を図ることを目的に開催されたが、佐世保高専での支援の実例を中心とした具体的な話で、特別支援教育の必要性について考えさせられた。

発行 津山工業高等専門学校 発行年月日 平成22年9月1日
